

# 令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 久世地域包括支援センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後6時まで

休業時間・休業日は、日直・宿直者が対応・緊急時には担当者に連絡出来る体制。

### 【事業実施地域】

京都市南区 祥栄学区及び久世学区

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

## 2 事業実施内容

・総合相談業務

・権利擁護業務

(虐待ケース等に関する個別対応・認知症支援のためのネットワーク作り・成年後見制度利用促進)

・介護予防ケアマネジメント業務

(地域支援事業及び一般介護予防事業利用促進・介護予防啓発)

・包括的・継続的ケアマネジメント業務

(地域の介護保険事業所交流会の開催・ケアマネ支援のための同行訪問等)

・その他 地域ネットワーク構築(他業種連携・地域福祉組織等との連携構築)

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

## 3 サービス提供状況

### 【職員体制】

センター長 1名(指定介護予防支援管理者と兼務)

社会福祉士 2名

主任介護支援専門員 1名

看護師 1名、保健師 1名、介護支援専門員1名(兼務)

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

地域住民向けのイベント開催や取り組みの際に、地域の中小企業と連携を行うことで、双方にとって有意義な形を作りたいと考えています。地域における取引が活発になることで、経済的に効果があるとともに、地域の高齢者を支えるネットワーク構築のきっかけにもなりえると考え、連携を図っていきます。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 介護予防支援給付対象者数 (実績値)

3251 人

(2) 相談延べ件数 (実績値)

4107 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況 (単位: 円)

委託料	26,716,800
介護保険収入	16,356,699
その他	0
収入計	43,073,499

イ 令和6年度支出状況 (単位: 円)

人件費	32,432,105
事業費	9,752,658
委託費	677,670
小額修繕費	28,710
その他	1,000
支出計	42,892,143

## 6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- ・ 満足度調査の実施 (利用者、家族)
- ・ 利用者嗜好調査の実施 (利用者)
- ・ ご意見箱の設置

(2) 利用者満足度把握の結果

- ・ 職員の言葉使いは丁寧ですか、96%の方が満足
- ・ 職員の服装は清潔感がありますか、95%の方が満足
- ・ あなたの担当者は親切・丁寧に相談に乗っていますか、93%
- ・ あなたの担当者はサービスについてわかりやすく説明していますか、92%の方が満足
- ・ 担当者が立てたケアプランに満足されていますか、91%の方が満足
- ・ 担当者との電話でのやり取りに満足されていますか、92%の方が満足
- ・ 介護保険サービスを利用してお身体の状況・生活環境は改善されましたか、95%の方が満足
- ・ 介護保険サービスを利用して社会参加の機会は増えたと思いませんか、63%の方が満足
- ・ 訪問時間に満足されていますか、91%の方が満足
- ・ 訪問日に配慮されていますか、93%の方が満足
- ・ 今の担当者に満足されていますか、93%の方が満足
- ・ 感染症対策には満足されていますか、99%の方が満足
- ・ サービスを利用した全般的な満足度 98%の方が満足

(3) 意見等への主な対応状況

満足度調査、嗜好調査、サービス担当者会議や在宅復帰会議により、把握できたご意見やご要望を職員で検討し改善策、改善期間を調査結果として施設内に掲示しています。  
「久世ホーム白書」として、パンフレットを作成し、利用者、事業所に配布しています。

## 7 その他特記事項

(1)

担当圏域内の公共施設・公共の社会資源との連携事業として、①公園体操の実施(3カ所)②久世西老人福祉センター出張相談(毎月1回)③地域の大型商業施設の催事スペースをお借りして毎月、参加型相談会実施。④特養併設のドッグランの運営・イベント開催

(2)

①公園体操については担当圏域内の公園3カ所で定例開催が来ています。老人福祉センターに関しては、令和5年度から同法人が老人福祉センターの運営を受託しており、毎月一回包括職員がでむき、出張相談として介護予防についての相談を受け付けております。商業施設での出張型相談会の開催、ドッグラン運営などを通じて、相談の敷居を下げ、高齢者だけでなく、高齢者を取り巻く世代にも地域包括支援センターを知っていただけるように活動しました。

## 8 評価(指定管理者自己評価)

指定管理者として、地域住民により活用されるセンターを目指し、アウトリーチには意識を高く持って取り組んでいます。運営法人のバックアップもあり、広報に力を入れており、よりたくさんの方に地域包括支援センターの存在を知っていただき、より早期から相談につながる形を作りたいと思います。

新規相談についても、経年で集計を取っており、地域の人口等の分析、相談の傾向などにも着眼するように努めています。若い世代が多い地域なので、高齢者支援の環境づくりと捉え、啓発する世代は絞らずに広く周知活動を行っていきけるようにしたいと考えています。研修につきましては、専門的な知識の向上に努めるため積極的な研修参加を心がけました。障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めました。